



サウンドトゥルー号 JBCクラシック制覇

11月3日に『第17回JBCクラシック』(Jpn I・ダート2000m)が大井競馬場で行われ、岡田スタッド(静内目名)の生産馬サウンドトゥルー号が見事優勝を果たしました。

サウンドトゥルー号は、後方からのスタートを切り、直線で得意の末脚を發揮。1馬身差をつけて勝利し、重賞4勝目を飾りました。

新ひだか町ふるさと大使第7号に認定！ 「橋本 昌彦」さんによる文化講演会

11月4日に町文化団体協議会(本山タイ会長)主催による『文化講演会』が町総合町民センターで開かれ、約200名が来場しました。

講演会に先立ち、同日付でふるさと大使に認定された三石豊岡出身で宮城県在住の陶芸家「橋本昌彦」さんの認定式が執り行われ、酒井芳秀町長より認定証が贈られました。



橋本さんは、これまでに数々の陶芸展で受賞・入選を重ね、日本伝統工芸展入選作が宮内庁へ買い上げられるなど、全国的にも高い評価を受けています。

講演では、『つくること・生きること～ふるさと三石を想う～』を演題に、「ふるさとに帰って来る感動はいつまで経っても変わらない。豊かな自然とあたたかい人たちが住むふるさとに育てていただいた。やわらかな雪やまっすぐな海岸線など、今も心に染み込んでいる」とふるさとへの思いを話しました。

また、講演後に、陶芸作品「塩釉流文扁壺」(高さ55cm)を町総合町民センターへ寄贈しました。今後、同センターで展示する予定です。



自動車整備士などの職業体験！ ジュニアアドベンチャー

11月5日に日高中部青年会議所(古川昌広理事長)主催による『ジュニアアドベンチャー2017』がピュアプラザで行われ、新ひだか町と新冠町の小学3～6年生約50名が参加しました。

この事業は、働く楽しさを知ってもらうことを目的とし、ネイリストや自動車整備士など全6種類の職業から選択し、職業体験を行います。

子どもたちは、楽しそうに、時には真剣な表情で集中して取り組む姿が見られました。



大脇 マサ子さんへ白寿祝状授与

11月5日に大脇マサ子さんが白寿を迎え、入所先の特別養護老人ホーム蓬萊荘で酒井町長から祝い状、町社会福祉協議会・土田副会長から記念品が贈られました。

大脇さんは、札幌市で生まれ、昭和16年に道夫さんと結婚し、4男・2女の子ども、15人の孫、9人のひ孫に恵まれ、学生時代は弓道で北海道代表として明治神宮大会に出場した経験もあり、長男の道亘さんは、「活発な優しい母親です」と話しました。



藤江 龍弘さんへ 全国防犯功労者等表彰 防犯荣誉銅章伝達

長年にわたり、地域安全活動に尽力し、安全で安心なまちづくりに貢献したことが認められ、全国防犯功労者等表彰防犯荣誉銅章が藤江龍弘さん(三石旭町)に贈られました。

10月10日に伝達式が静内警察署で行われ、酒井芳秀町長から表彰状が伝達されました。

藤江さんは、「感慨の至りでございます。どうやったら犯罪を防止できるかは、とても難しい。今後でもできることをやっていきたい」と述べました。



民生委員制度創設100周年記念 日高管内地方研究集会

10月12日に北海道民生委員児童委員連盟日高支部(野中榮修支部長)主催の『～民生委員制度創設100周年記念～日高管内地方研究集会』が町公民館で開かれ、約160名が出席しました。

式典では、民生委員・児童委員を30年以上務め、功績が顕著だった日高管内の委員5名に感謝状が贈呈され、当町からは野中榮修さん(静内花園)が受賞しました。

その後、介護講談師の田辺鶴瑛さんによる記念講演「地域で見守り ほっとけ心のアップレ介護」が行われました。



MOA美術館 新ひだか児童作品展

10月14日から15日にかけてMOA美術館新ひだか児童作品展実行委員会(藤沢澄雄実行委員長)主催による『新ひだか児童作品展』が町公民館で行われ、町内の小学校や幼稚園、保育所に通う子どもたちの絵画や書道の応募作品711点が展示され、うち46点が入賞しました。



道央ブロック町内活動研究大会

10月26日から27日にかけて、北海道町内会連合会、北海道社会福祉協議会主催の『平成29年度道央ブロック町内活動研究大会』が町総合町民センターで開かれ、道央圏の自治会関係者など約80名が参加しました。

「安全・安心な地域づくりをめざして」をテーマに、講演や分科会での意見交換、報告発表が行われました。



イオル再生事業体験交流

10月20日から31日にかけて東静内小、桜丘小、静内小、高静小、山手小学校の4年生を対象に総合的な学習の時間を活用して『イオル再生事業体験交流』が行われました。

山手小ほか3校は、カネピパ(鉄製のカマ)によるイナキビの収穫や伝統食材の試食体験などを行い、高静小は、マレク(突きカギ)による伝統的なサケ漁の再現を見学・加工体験を行い、アイヌ文化への知識を深めました。



新ひだか町地域おこし協力隊

Vol.12

活動レポート

静内小学校 総合的な学習の時間

「新ひだか町の馬について調べよう」がスタートしました！

10月末より町内外の関係者のご協力のもと、静内小学校5年生の総合的な学習の時間で馬を学ぶ授業（全17時間）が行われています。

柴井いくみ 隊員



①オリエンテーション 10月25日(水)

「馬」から連想するものをみんなで書いて発表し、12月に行われる発表会にむけてグループ分けをしました。

- ・馬について
- ・装蹄師の仕事について
- ・馬産地の歴史について
- ・獣医の仕事について
- ・牧場の1日について

②馬ってどんな動物？ 10月27日(金)

MKRanchに校外学習に行ってきました。馬はどのような生き物で、どういった動きをするのか？どのように馬とコミュニケーションをとるのか？ホースマンシップという考え方を全員初めて体験しました。みんなからの提案で、次のことにチャレンジしてもらいました。

- ・「ジャスティス！」と言ったら、馬が下がる
- ・「35億！」と言ったら、馬が止まるようにする

結果は…大成功！でした！



③新ひだか町の馬産地の歴史 11月6日(月)

新ひだか町博物館学芸員の齊藤大朋さんより、馬産地になるまでの歴史についてお話がありました。

新冠御料牧場があった明治時代の頃、馬がミヤコザサだけを食べて生きていくのには、静内小学校2つ分の広さが必要！など身近なものに例えて、わかりやすく説明していただきました。

地形の話では、普段授業で学んでいる図形の角度の話があり、歴史以外の部分にも触れ、楽しく学びました。



ひだかうまキッズ探検隊

～装蹄師編～

10月28日(土)、ライディングヒルズ静内にて装蹄師のお仕事を見学しに行きました。

実際に自分たちで馬の肢あげを体験し、馬の蹄を削る削蹄作業・蹄鉄をつける装蹄作業を見学しました。いろいろな道具を使い、馬の蹄を整えていく工程にみんな興味津々でした。

次回は獣医師のお仕事を学びにいきます。



装蹄師 島山 朋弘 さん



みついし水稻振興会 三石産米「トキノミノル」寄贈

11月8日にみついし水稻振興会（富田浩幸会長）が特別養護老人ホーム蓬莱荘を訪れ、三石産米「トキノミノル」を寄贈しました。この寄贈は、丹精込めて育てたお米を多くの方に食べてほしいとの思いから毎年行われており、今年も蓬莱荘のほか、三石小学校や三石中学校などを訪問し、約170kgの新米を寄贈しました。



静内ロータリークラブ エゾヤマザクラの成木3本寄贈

11月8日に静内ロータリークラブ（河原秀幸会長）が町へエゾヤマザクラの成木3本を寄贈し、二十間道路桜並木の花のトンネルに植樹を行いました。

これは、同クラブが掲げている「環境保護取組」の一環として、当町の観光名所である二十間道路へ桜の植樹を考えました。来年の春に花が咲く予定ですので、ぜひご覧ください。

今年度最後のAiba祭 来場者数 今シーズン最多！

11月8日にホッカイドウ競馬の応援を目的とした『第5回Aiba祭』がさくらセレモニーホールで開かれました。

この日は、今シーズン最多の674名が来場し、軽食やビールを味わいながら、大型スクリーンでレースを楽しみ、最後は、4K40型液晶テレビなど豪華景品が当たる大抽選会が行われ、大いに盛り上がりました。

また、今年度通算の売上もホッカイドウ競馬全体、Aiba静内ともに計画額を大幅に超えることができました。ご協力ありがとうございました。



幌村建設(株)へ 善行表彰贈呈

町は、今年9月に図書購入資金として多額の寄附をされた幌村建設株式会社（幌村司社長）に善行表彰を贈呈しました。

11月13日に『善行表彰贈呈式』が幌村建設(株)で行われ、酒井芳秀町長より幌村司社長に表彰盾が手渡されました。

幌村社長は「先代から旧延出小学校に図書資金を長い間寄附してきたこともあり、地域の子どものために小中学校への寄贈を今後も継続していきたい」と述べました。



三石小5年生 地域学習「漁業を学ぶ」

11月13日にひだか漁協三石青年部と三石地域マリビジョン協議会による出前授業「海物語 in みついし」が、三石小学校5年生15名を対象に行われました。

その日に水揚げされたタラやマツカワ、ハッカクなど9種類の魚に触れたり、同漁協三石女性部とのサケフレックづくりを体験し、漁業への理解を深めました。

児童からは、「ぬるぬるしていて、柔らかかった。日高の沖にもサメがいるとは知らなかった」などの感想がありました。

